

授業科目(ナンバリング)	法学 (AD117)			担当教員	脇野 幸太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>私たちは、誰もが社会的な関係のなかで生活しており、その社会の秩序を維持するためにはルールが必要である。そのルール(規範)が「法」である。その意味で、法は私たちの生活と深いかかわりを持っており、私たちに非常に身近な存在である。だが、その一方で、法には法の独特なもの考え方がある。本講義では、日常生活上の具体的な例をあげながら、私たちの生活と法のかかわりについて考えるなかで、「法的なものの考え方(リーガル・マインド)」を養うことを目標とする。</p>							①②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	法の各分野の基本事項を説明できる。				・小テスト ・定期試験	10% 20%	
情報収集、分析力	社会で生じるさまざまな法律問題につき、「自分ではどう考えるか、それはなぜか」という思考とそれに基づいた判断ができる。				・定期試験	50%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	私たちの日常生活と法のかかわりについて認識できる。				・小テスト ・定期試験	10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験のほか、小テストを下記要領で 2 回実施し、それらを総合的に勘案して評価を行う。小テスト実施後は、その場で各自による採点と、復習を兼ねた解説を授業の中で行う。評価比率は上記のとおりである。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>講義形式を基本とするが、折に触れて受講者と議論しながら、日常の法律問題について考える機会を設けたい。授業は、毎回配布するレジュメと、『法学六法』を用いて展開する。</p> <p>法とか法学というと、堅苦しく難解なイメージがあり、確かにそのような側面のあることも否定できないが、授業では、日常の身近な法律問題や、時事的な問題を取りあげながら解説を行い、初めて学ぶ法の世界を身近に感じてもらえるようにしたい。</p> <p>また、法律学では、社会で生じる法律問題について、「自分ではどう考えるか、それはなぜか」という論理的な思考と、それに基づく判断が求められる。そのような思考法を身につけてもらうため、レスポなどをを用いて受講者の意見を聞きながら授業を展開する機会も設ける予定である。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分である。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：大林啓吾・手塚崇聡編『ケースで学ぶ法学ナビ』みらい・2018 参考書：授業中に随時紹介する。 指定図書：教科書に同じ。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>おそらく大部分の学生にとって、法学は大学で初めて学ぶ科目のはずである。だからこそ、授業内容理解のためには、授業に欠かさず出席し、基本的事項から理解を積み上げていくことが重要となる。</p> <p>以上のことから、授業外の学修としては、特に復習を重点的に行ってほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 私たちの日常生活と法	授業で扱う内容、授業の進め方について説明する。 私たちの日常生活と法のかかわりについて、身近な例を通じて考える。	予習：自分と法の関わりについて振り返る。 復習：レジュメの内容。
2	契約 民法（財産法）入門①	私たちにとって最も身近な法律関係である「契約」を通じて、法の基本的な考え方について学ぶ。	予習：授業前日に自分が結んだ契約を列挙する。 復習：レジュメの内容。
3	契約 民法（財産法）入門②	契約における「意思表示」について学ぶ。	予習：契約の意味について再度復習しておく。 復習：レジュメの内容。
4	契約 民法（財産法）入門③	日常生活における契約上のトラブルと法の関係について学ぶ。	予習：自分や家族が巻き込まれた法的なトラブルについてまとめておく。 復習：レジュメの内容。
5	家族と法 民法（家族法）入門	現代における家族と法の関係について考える。	予習：家族の法について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
6	憲法① 近代国家と憲法	「国家」とは何か、「憲法」とは何かについて、その歴史的発展の過程から考える。	予習：日本国憲法について知っていることをまとめておく。 復習：レジュメの内容。
7	憲法② 日本国憲法	日本国憲法の基本理念について考える。	予習：日本国憲法の基本理念をまとめておく。 復習：レジュメの内容。
8	憲法③ 基本的人権の保障	基本的人権（自由権、平等権、社会権、参政権等）の保障ということの意味について考える。	予習：人権について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
9	国家と国民	薬害問題、公害問題、えん罪事件などを例に、国家と国民の関係や「権力」の意味について考える。 *第1回から第8回までの内容に関する小テストを実施する。	予習：小テストに向けた復習。 復習：レジュメの内容。
10	犯罪と法	犯罪を法によって罰することの意味について考える。	予習：刑法について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
11	裁判と法	裁判制度の基礎について学び、現代社会における裁判制度の意味について考える。	予習：裁判制度について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
12	働くことと法	労働者を法によって保護することの意味について考える。	予習：労働法について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
13	社会保障・社会福祉と法	生存権保障およびその具体化である社会保障、社会福祉の法について考える。 *第9回から第12回までの内容に関する小テストを実施する。	予習：社会保障・社会福祉について知っていることをまとめる。 復習：レジュメの内容。
14	法の解釈ということについて	社会に生じる問題を法を通じて解決するためには、法の「解釈」という作業が必要となる。これまで学んだ事項をもとに、法学の核心のひとつである「法の解釈」について学ぶ。	予習：事前に配布した課題に基づき、文言の「解釈」について考えておく。 復習：レジュメの内容。
15	まとめ 法とは何か	これまで学んだことのまとめとして、社会のルール（規範）としての法の意味について考える。	試験に向けた準備。
16	定期試験		